QUARTERLY REPORT OF JAPAN HEART FOUNDATION

No.232

心臓財団 季報

SEP.10, 2018

公益財団法人
日本心臓財団
〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル4階
●Tel 03-5324-0810 ●Fax 03-5324-0822
●e-mail：info@jhf.or.jp ●URL：http://www.jhf.or.jp

2018年 健康ハートの日

～皆様からのご支援で今年も盛況に開催することができました～

日本心臓財団では8月10日が810（ハート）と読めるころから、1985年にこの日を「健康ハートの日」と定め、この日を中心に各地で心臓病の予防啓発活動を行っています。

今年は東京では8月5日（日）、名古屋では8月10日（金）、豊橋、岐阜、京都では8月11日（祝）に開催されました。

各地のイベントの模様を、写真とともに紹介します。

健康ハートの日 2018（東京）

東京では現在、日本心臓財団と日本循環器学会共催で開催しており、オムロンヘルスケア（株）とフクダ電子（株）の協力を得て開催しております。

今年は、豊島区の後援を得て、JR池袋駅西口のメトロポリタンプラザビル1階自由通路にて開催いたしました（来場者数156名）。

いつもの財団スタッフ、学会スタッフ、循環器専門医（上松瀬勝男先生、杉本恒明先生、羽田勝征先生、細田瑳一先生）、管理栄養士に加え、日本高血圧学会の協力により高血圧・循環器予防療養指導士の方にも来ていただき、血圧、体脂肪、家庭用心電図、動脈硬化度測定、栄養相談、医療相談、胸骨圧迫とAED講習、動く心臓模型（ハートナビ）展示を行いました。また、応援に禁煙啓発キャラクターのすわん君とその仲間たちも来ていただき、会場を賑わせてくれました。

杉本恒明先生（日本心臓財団顧問）のご感想

心臓財団のハートの日キャンペーンが池袋駅西口のルミネと東武デパート間の広場で行われ、参加した。副都心線でいってみた。ホームの出口案内に従って、人出の多さに圧倒されながら迷うことなく行き着いた。カラフルで立派な看板が立つ豪華な会場だった。

スタッフは例年、お馴染みの懐かしい方々であった。循環器学会共催となって、学会の若い人たちが大勢参加してくれていた。ぬいぐるみキャラクターが3人も来てくれて子どもたち、ご婦人たちに囲まれ賑わった。AEDのデモは正座して参加する大人たちで常に満席であった。

池袋という土地柄に昨年までの新宿とは違った主婦たちのバイタリテイが感じられて、力強く、頼もしく、嬉しかった。

医療相談では、計測したばかりの血管年齢と脂肪率が話題になる。血管年齢は皆さん、不思議に若い人たちばかりだった。体重オーバーは脂肪ではなく、筋肉量が多いためとわかって安心されたり、後期高齢者になると脂肪は万が一の際のリザーブになる、と説明して喜ばれることが多かった。自分の心電図を持参してきたり、ご家族の病気を心配して長い時間座り込む人もいた。告知についての相談があった。私の説明はありきたりのものだったが、私のような医者が育って欲しいといってくれた。下肢の灼熱感と浮腫を訴える40台の女性がいた。末梢神経炎ではないか、と思った。私の年齢を聞く人も二人ほどいた。私は年齢を意識するようになって、しばらく医療相談からは離れていたが、まだ、できそうだ、と思った。

人の役に立つと思えることが私の人生に生き甲斐をもたせてくれている。暑さのせいもあって、疲れたけれど、まだ生きていてよいのだ、と思った嬉しい一日だった。

すわん君（日本循環器学会禁煙啓発キャラクター）の感想

∠(￣8￣) 去年に引き続き今年も盛り上げ隊長として参加させて頂きましゅた！！

若い方々にもご参加いただき、AED・心肺蘇生法講習、心電図測定など体験して楽しかった様子もTwitterに沢山アップしてくれておりましゅわん。「#健康ハートの日」で是非検索してみて下しゅわいね。

今年はお友達のちょこ太郎と大根ちゃまも参加して一緒に盛り上げてくれましゅたよ♪♪

これからも心臓病の予防啓発を推進して健康寿命を伸ばすぞぉ d(-８☆)

すわん君（左）と杉本恒明先生（右）

第19回「8月10日はハートの日」豊橋

今年のテーマは「未来の医療を考えよう!!」。メイン講演では川嶋朗先生（東京有明医療大学）に「これからの医療とは!?」というテーマで医療費の観点から、また寺嶋一彦先生（豊橋技術科学大学）に「スマートホスピタル構築のための病院内回診・見回り・歩行支援ロボットの研究開発」というテーマで工学の立場からご講演いただきました。また、子どもたちが医師（心臓手術体験）、薬剤師、看護師の仕事を体験する「夏休み！子ども仕事体験」や、「いのちのエンジニアブース」（医療ロボットや人工心肺装置等の展示）、健康診断、救急蘇生法講習会などのほか、豊橋少年少女合唱団によるハートコンサートも行われました。

第10回ハートの日 in 名古屋

今年のメインテーマは「心臓病もガンも認知症も予防できる、運動と食事の講演会」。ハート講演会では江原真理子先生（名古屋ハートセンター）より「くう・ねる・あそぶは、オトナの基本」と題したフレイル予防のお話を、南雲吉則先生（ナグモクリニック）より「命の食事　大切な人を守るための食事と生活」と題したがん予防

のお話を伺いました。さらに今回は来場者参加型の企画として健康チェック（身長体重、握力、血圧、下腿周径測定、立ち上がりテスト）とその結果をもとにした医療相談、栄養教室などを開催しました。そのほか筋トレ講座（米澤卓郎先生　サーティ・サーティ・フィットネス・システムズ）や日中武道研究会の方々による「中国武術の演舞」が行われました。

第10回ハートの日 in 岐阜

今年のメインテーマは「家族で心臓病を考える」。こども体験学習会では心臓に関するワークショップをはじめ心臓カテーテル手術の模擬体験や、検査体験、調剤体験、リハビリ・介護体験、救急蘇生法講習会が行われました。またハート講演会では南雲吉則先生（ナグモクリニック）より「命の食事」、運動教室（米澤卓郎先生　サーティ・サーティ・フィットネス・システムズ）、栄養教室（長井佳代先生　ナグモクリニック）が開催されました。

第5回京都ハートの日

5年目を迎えた市民公開講座に、実行委員長の木下法之先生（武田病院）は冒頭で感謝の辞と、会場からの質問にお答えできる学びの場にしたいとの挨拶がありました。講演は、森田秀之管理栄養士（武田病院）の「美味しくないと意味がない減塩」、今井優健康運動指導士（康生会クリニック）の「心臓リハビリについて」、木下法之先生の「心臓血管病　現在の対策」、朴昌禧先生（武田病院）の「心不全とサルコペニア予防」、桝田出先生（武田病院）の「家族性高コレステロール血症」があり、その後のシンポジウムでは松原欣也先生（まつばらクリニック）も加わり、会場からの質問に回答しました。

ハートレシピ 2018
作り置きでヘルシーな簡単ハートレシピ

日本心臓財団とエドワーズライフサイエンス社が毎年発表している心臓にやさしい健康メニュー「ハートレシピ」。

今年は今までコラボレーションしてきた各地のレシピをアレンジし、簡単に調理できて、作り置きができるレシピを「ベターホームのお料理教室」にご考案いただきました。（レシピの内容は心臓財団ホームページ「心臓にやさしいハートレシピ」に掲載）

健康ハートの日を前にした8月1日（水）、このハートレシピの記者発表会を開催し、第1部では東京ベイ・浦安市川医療センターの渡辺弘之先生に「心臓と塩」というテーマでご講演いただき、その後、心臓弁膜症手術を受けたファッションデザイナーのドン小西さんをゲストに迎えて治療体験をお話しいただきました。第2部では料理教室を開催し、一般募集したシニア男性の方々と一緒に、渡辺先生とドン小西さんにも参加いただいて、実際にハートレシピの料理を作っていただきました。

心臓は、全身に血液（酸素と栄養）を送り出すポンプの役割をしています。このポンプ機能を維持するために、逆流を防止する弁が付いています。この弁が加齢や動脈硬化によってきちんと閉じたり開かなかったりすると弁膜症という病気になります。

弁膜症が重症化すると、ポンプとしての心臓に負担がかかり、心不全になり、死に至ります。

この弁膜症の代表的な症状は息切れですが、高齢者は生活の中であまり動かないので、症状に気づいた時には重症化している可能性があります。動いて苦しいのは歳のせいだと思っていますと、発見が遅れて重症化してしまいます。

健康診断での聴診、そこで異常があれば心エコー検査を受けて、早期発見と適切な時期に治療していただきたいと思います。

このような弁膜症をはじめ心臓病の大きな原因の一つに高血圧があります。高血圧患者さんは日本には現在約4,300万人いますが、治療を受けている方は21%しかいません。

65歳を超えると半数以上の方が高血圧になっていきます。血圧というのは心臓から全身に送り出された血液が血管の壁を押す時の圧力です。高血圧はポンプ本体である心臓に負担をかけます。無症状で進行し、突然、心不全、狭心症や心筋梗塞、不整脈や弁膜症が起こってきます。心臓だけでなく脳卒中や足の血管が詰まるなど全身に病気を発症させます。

高血圧の予防には、生活習慣の改善、とくに運動・食事・禁煙が重要です。

食事はまず野菜をたくさん食べましょう。そして減塩です。

高血圧には塩分が関連しています。塩分が高血圧を引き起こし、高血圧が心血管病を引き起こすだけでなく、最近は塩分が直接、心血管病を引き起こすというデータも出始めています。

現在の日本人の塩分摂取量は一日約10グラムです。2015年の「日本人の食事摂取基準」（厚生労働省）では、男性8グラム、女性7グラムを目標にしています。この1グラムの差は食べる量の差です。日本高血圧学会や日本心臓財団は目標値6グラム未満を推奨しています。

厳しいようですが、世界標準はWHO（世界保健機関）では5グラム未満を推奨していますし、アメリカ心臓学会（AHA）では2010年の段階で病気がある人は3.8グラム未満にしましょうとまで言っています。

できることからやっていくことが大切で、少しずつでも実践しなければ意味がありませんが、日本人の減塩への意識は世界のどこよりも低く、塩分が好きな国民であることを理解しておいてください。減塩は健康の鍵です。

特に心不全患者さんではこの塩分制限が大切になっています。高血圧は血圧の高い分、強く血液を押し出さなければいけないので心臓に負担がかかるわけですが、心不全の場合、体液量を増やすこと自体が負担になってきます。食塩1グラムで体液が300mL貯まると言われています。つまり1グラムの食塩は体重を0.3キロ増やし、10グラムで体重が3キロ増加することになります。

そしてこの塩分は、思わぬところにも入っています。たとえばパンには塩分が含まれています。6枚切りのパンにバターを塗ると、それだけで1グラムになってしまいます。食品そのものにも塩分が含まれていることを知っておいてください。

また、カップ麺やスポーツ飲料には、塩分量がナトリウム表示されていますが、食塩量はナトリウムの2.5倍になります。カップ麺にナトリウム1.8グラムと表示されていたら、それは食塩4.5グラムということです。

心臓を守るには、生活習慣が大切で、塩分管理は心臓病管理の中で最も重要です。ハートレシピで心臓を守り、健康寿命を延ばしてください。

渡辺弘之先生とゲストのドン小西さん

協力：ベターホームのお料理教室

レシピ

料理教室メニュー

●1人分　678kcal　（塩分3.0g、野菜225g）

おかずのタネ ドライカレー

【材　料】(4人分)
- ●合いびき肉 ……200g
- ●たまねぎ ……1個（200g）
- ●にんじん ……1/2本（100g）
- ●にんにく ……1片（10g）
- ●しょうが ……10g
- ●ピーマン ……2個（80g）
- ●サラダ油 ……大さじ1（12g）
- ●カレー粉 ……大さじ2（12g）
- A
  - ウスターソース ……大さじ2
  - トマト水煮缶 ……200g
  - スープの素（顆粒） ……小さじ1/2（2g）

【作り方】
❶ たまねぎ、ピーマンはみじん切りにする。
❷ にんにく、しょうがはすりおろす。にんじんも皮ごとすりおろす。
❸ フライパンに油を温め、ピーマン以外の野菜を入れ、中火で炒める。しんなりしたらひき肉を加えて、色が変わり、パラパラになるまで炒める。ピーマンを加えてさっと炒める。
❹ カレー粉を加えてさらに炒め、全体になじんだらAを加える。
時々混ぜながら、5～6分、汁気がなくなるまで煮る。

豆入りドライカレー

【材　料】(4人分)
- ●ドライカレー ……4人分
- ●大豆水煮 ……120g
- ●雑穀ごはん ……600g
- ●パセリ ……4g

【作り方】
❶ ドライカレーを温め、大豆を混ぜる。
❷ 器に雑穀ごはんをよそい、❶をのせる。パセリをちぎって散らす。

キウイヨーグルト

【材　料】(4人分)
- ●プレーンヨーグルト ……320g
- ●キウイの砂糖漬け ……120g

【作り方】
❶ 器にヨーグルトをよそい、キウイの砂糖漬けをかける。

作りおき キウイの砂糖漬け

【材　料】(約8食分)
- ●キウイ ……2個
- ●砂糖 ……40g

【作り方】
❶ キウイは皮をむいて、5mm厚さのいちょう切りにする。
❷ 砂糖をまぶして30分以上おく。

作りおき カラフル野菜のピクルス

【材　料】(4人分)
- ●きゅうり ……1本(100g)
- ●パプリカ赤 ……1/2個（80g）
- ●パプリカ黄 ……1/2個（80g）
- ●セロリ ……80g
- A
  - 砂糖 ……大さじ2（18g）
  - 塩 ……小さじ2/3（4g）
  - 酢 ……50mL
  - 水 ……100mL
  - 粒こしょう ……小さじ1/4
  - ローリエ ……1枚

【作り方】
❶ きゅうり、パプリカ、セロリは、4～5cm長さ、1cm幅に切る。
❷ 鍋にAをあわせて、ひと煮立ちさせる。
❸ 野菜をボールに入れ、❷を熱いうちに注ぐ。30分以上おき、途中1～2回混ぜる。

平成30年度 日本心臓財団研究奨励募集

心臓血管病（心臓病、脳卒中、高血圧、動脈硬化症等）の成因、治療あるいは予防に関する独創的研究に対し実施します。

1．研究奨励金および応募資格

（1）A 第44回日本心臓財団研究奨励

1件200万円を10件。

わが国に在住し、心臓血管病の基礎、臨床または予防に携わる40歳未満の研究者（1978年4月1日以降に生まれた者）。

B 第9回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励

1件100万円を3件。

Aの応募対象者のうち基礎研究室に所属する研究者。

C 第9回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励

100万円を1件。

Aの応募対象者のうち女性研究者。

（2）第6回日本心臓財団拡張型心筋症治療開発研究助成（ほのかちゃん基金）

1件200万円を2件。

わが国に在住し、拡張型心筋症の基礎、臨床または予防に携わる研究者。

なお、応募はひとり1件に限ります。研究奨励金を受けた者は、同一の研究奨励に再度応募できません。

2．応募方法・期間

2018年9月1日～10月15日（消印有効）

当財団ホームページより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入して日本心臓財団事務局宛にメールと郵送にてお送りください。

日本心臓財団・バイエル薬品　第32回 海外留学助成募集

日本心臓財団では日本循環器学会の後援のもとにバイエル薬品株式会社の協力を得て、循環器領域の少壮研究者が海外の研究機関等に留学し、独創性のある研究や萌芽的な研究を行う場合の渡航費並びに滞在費の一部を補助するために海外留学助成を実施します。

1．助成対象

心臓病・脳卒中・高血圧・動脈硬化症等の循環器領域の研究に携わる研究者

2．助成額

1件300万円とし原則として10件

3．応募資格

次の事項のすべてに適合する者

1）初めての海外留学であること

2）40歳未満(1979年4月1日以降生まれ)で日本在住であること

3）1年以上留学し、帰国後日本の学術振興に寄与すること

4）留学先研究機関の責任者または受入者の承諾を得ていること

5）一定の研究業績を有すること

6）2019年4月1日～2020年3月31日の間に出発の予定であること

なお、選考決定後、留学前に留学先を変更した場合や期間内に出発の予定が決まらない場合は、取消すこともあります。

4．応募方法・期間

2018年10月1日～11月30日（消印有効）

当財団ホームページより応募要項をダウンロードし（9月末公開予定）、必要事項を記入して事務局宛にメールと郵送にてお送りください。

第23回 日本不整脈心電学会学術奨励賞

平成30年7月11日～14日、東京国際フォーラムにて、第65回日本不整脈心電学会学術大会（会長：萩原誠久　東京女子医科大学循環器内科教授）が開催され、期間中に日本心臓財団が後援する第23回学術奨励賞の贈呈が行われました。

これは日本不整脈心電学会の会員であり、不整脈・心電学の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、将来発展の期待される40歳未満の研究者に贈られるものです。受賞者は以下のとおりでした。

基　礎

最優秀賞　吉田　聡　市立東大阪医療センター循環器内科

優 秀 賞　園田 桂子　国立循環器病研究センター分子生物部

臨　床

最優秀賞　小松 雄樹　筑波大学附属病院循環器内科

優 秀 賞　木村 義隆　東北大学循環器内科学

教室（医局）・病院（医院）・医師会賛助会員の皆様

日本心臓財団と日本循環器学会が共同発行している月刊誌「心臓」の発行と当財団の運営を支えていただいている賛助会員の皆様を感謝の意を表して掲載させていただきます。

教室（医局）賛助会員

北海道大学循環器内科
札幌医科大学循環器内科
弘前大学循環器腎臓内科
東北大学循環器内科
東北医科薬科大学循環器内科
山形大学第一内科
福島県立医科大学循環器内科
筑波大学循環器内科
自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科
獨協医科大学心臓・血管内科
獨協医科大学越谷病院循環器内科
群馬大学循環器内科
千葉大学循環器内科
埼玉医科大学国際医療センター心臓内科
日本大学循環器内科
駿河台日本大学病院循環器内科
帝京大学循環器内科
帝京大学附属溝口病院循環器内科
帝京大学ちば総合医療センター循環器内科
日本医科大学循環器内科
日本医科大学多摩永山病院循環器内科
日本医科大学千葉北総病院循環器内科
東京大学循環器内科
順天堂大学循環器内科
東京医科歯科大学循環器内科
慶應義塾大学循環器内科
東京医科大学循環器内科
東京医科大学八王子医療センター循環器内科
東京慈恵会医科大学循環器内科
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科
東京女子医科大学東医療センター心臓血管診療部
昭和大学藤が丘病院循環器内科
東邦大学医療センター大橋病院循環器内科
杏林大学循環器内科
横浜市立大学循環器内科
聖マリアンナ医科大学循環器内科
北里大学循環器内科
東海大学循環器内科
東海大学付属八王子病院循環器内科
新潟大学循環器内科
富山大学第二内科
金沢大学循環器内科
金沢大学先進総合外科
金沢医科大学循環器内科
信州大学循環器内科
浜松医科大学循環器内科
名古屋大学循環器内科
三重大学循環器内科
滋賀医科大学呼吸循環器内科
京都大学循環器内科
関西医科大学循環器内科
奈良県立医科大学第1内科
大阪大学循環器内科
近畿大学奈良病院循環器内科
神戸大学循環器内科
島根大学循環器内科
広島大学循環器内科
山口大学循環器内科
徳島大学循環器内科
愛媛大学循環器内科
高知大学老年病・循環器・神経内科
九州大学循環器内科
福岡大学心臓血管内科
福岡大学筑紫病院循環器内科
佐賀大学循環器内科
長崎大学循環器内科
熊本大学循環器内科
大分大学循環器内科
宮崎大学循環器内科
鹿児島大学心臓血管内科

病院（医院）賛助会員

江別市立病院
北海道大野病院
北海道社会事業協会帯広病院
札幌中央病院
札幌心臓血管クリニック
札幌東徳洲会病院
旭川リハビリテーション病院
仙台厚生病院
仙台赤十字病院
本荘第一病院
三友堂病院
福島赤十字病院
国際医療福祉大学病院
新小山市民病院
茨城県立中央病院
常陸大宮済生会病院
慶友会慶友整形外科病院
千栄会高瀬クリニック
田口会新橋病院
博仁会第一病院
輝城会沼田脳神経外科循環器科病院
鶴谷病院
北里大学メディカルセンター
埼玉県立循環器・呼吸器病センター
さいたま市民医療センター
深谷赤十字病院
関越病院
東葛病院
板橋中央総合病院
江戸川病院
関東中央病院
榊原記念病院
聖路加国際病院心血管センター
虎の門病院
武蔵野赤十字病院
東大和病院
小田原循環器病院
国際親善総合病院
横浜栄共済病院
済生会横浜市南部病院
済生会富山病院
富山赤十字病院
金沢医療センター
抱生会丸の内病院
岐阜総合医療センター
澄心会岐阜ハートセンター
慈朋会澤田病院
東海中央病院
松波総合病院
聖隷浜松病院
市立湖西病院
澄心会名古屋ハートセンター
名古屋第二赤十字病院
藤田保健衛生大学坂文種報徳會
大台厚生病院
永井病院
伊勢赤十字病院
新宮市立医療センター
近江八幡市立総合医療センター
亀岡病院
京都桂病院
京都第一赤十字病院循環器内科
洛西ニュータウン病院
毅峰会吉田病院
大阪府三島救命救急センター
りんくう総合医療センター
小松病院
北播磨総合医療センター
神戸アドベンチスト病院
三栄会ツカザキ病院
製鉄記念広畑病院
高清会高井病院
健生会土庫病院
誠佑記念病院
公立那賀病院
しげい病院
東広島医療センター
済生会広島病院
福山循環器病院
県立広島病院
岩国医療センター
美祢市立病院
済生会今治病院
今治第一病院
喜多医師会病院
近森会近森病院
済生会福岡総合病院
杉循環器内科病院
原三信病院
福岡市医師会成人病センター
福岡新水巻病院
福岡記念病院
小倉記念病院
春陽会うえむら病院
新小文字病院
熊本赤十字病院
済生会熊本病院
大分岡病院
都城市郡医師会病院
青仁会池田病院
鹿児島県立北薩病院
鹿児島市医師会病院
鹿児島生協病院
かりゆし会ハートライフ病院
翔南会翔南病院
豊見城中央病院

医師会賛助会員

日本医師会
群馬県医師会
埼玉県医師会
東京都医師会
太田市医師会
沼田利根医師会
藤岡多野医師会
前橋市医師会
上尾市医師会
さいたま市与野医師会
狭山市医師会
本庄市児玉郡医師会
葛飾区医師会

当財団をご支援くださる方

賛助会員として本年度にご支援いただいた方々のご芳名を掲載させていただきました。

（2018年6月～8月）

明石 嘉浩 様
阿古 潤哉 様
足達 寿 様
新 博次 様
阿部 倫明 様
天野 篤 様
池田 孝之 様
石川 雄一 様
石橋 俊 様
和泉 徹 様
市川 悦 様
一色 高明 様
伊藤 健太 様
伊藤 隆之 様
伊藤 貞嘉 様
上嶋 健治 様
上島 弘嗣 様
浦 信行 様
遠藤 政夫 様
大島 文雄 様
大和田 憲司 様
岡島 光治 様
緒方 松柏 様
岡田 幾太郎 様
小川 聡 様
荻野 和郎 様
奥村 健二 様
尾崎 行男 様
小澤 利男 様
小野 稔 様
小野 高史 様
片見 初江 様
加藤 正明 様
金古 善明 様
加納 達二 様
河合 忠一 様
川田 ノリ子 様
河村 慧四郎 様
上松瀬 勝男 様
北村 和雄 様
木之下 正彦 様
木原 康樹 様
木村 彰方 様
木村 剛 様
楠岡 英雄 様
楠川 禮造 様
久保田 徹 様
倉林 正彦 様
栗原 敏 様
古賀 義則 様
児玉 安司 様
後藤 京子 様
後藤 又三 様
近藤 高明 様
齋藤 重幸 様
坂田 泰史 様
朔 啓二郎 様
佐々木進次郎 様
佐田 政隆 様
佐藤 和徳 様
佐藤 修 様
猿田 享男 様
島田 和幸 様
下川 宏明 様
白土 邦男 様
杉澤 和美 様
杉本 恒明 様
須磨 幸蔵 様
住吉 昭信 様
千田 彰一 様
高橋 敦男 様
髙本 眞一 様
髙安 徹雄 様
高柳 寛 様
瀧本 英樹 様
竹越 襄 様
武田 信彬 様
田中 弘允 様
塚本 宏 様
堤 健 様
鄭 忠和 様
外山 淳治 様
永井 良三 様
長澤 一成 様
中田 八洲郎 様
中原 容 様
西川 章 様
乳井 裕子 様
野村 雅則 様
橋場 邦武 様
橋本 敬太郎 様
長谷部 直幸 様
羽田 勝征 様
濱 正孝 様
林 輝美 様
早野 元信 様
原 和弘 様
東 あかね 様
菱田 仁士 様
平岡 昌和 様
平田 恭信 様
日和田 邦男 様
福井 寿啓 様
福田 恵一 様
福田 孝太郎 様
藤原 久義 様
細田 瑳一 様
前村 浩二 様
松岡 博昭 様
松﨑 益徳 様
松永 正人 様
三浦 傳 様
水重 克文 様
水野 杏一 様
三田村 秀雄 様
道場 信孝 様
南野 徹 様
宮垣 武司 様
宮崎 美枝子 様
村田 勝敬 様
村田 和彦 様
村山 正博 様
望月 茂 様
百瀬 満 様
森本 将史 様
矢﨑 義雄 様
安井 健二 様
山下 武志 様
山科 章 様
山村 憲 様
山本 章 様
家森 幸男 様
弓削 浩 様
横倉 義武 様
（五十音順）
他匿名８名

当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。ご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。

（2018年6月～8月）

市川 保定 様
坂本 めぐみ 様
花澤 曜聿 様
前田 拓也 様
山本 和子 様
越智 秀明 様
高橋 靖 様
福田 扶佐子 様
村上 勝彦 様
他 匿名4名
鎌田 信夫 様
萩原 雅男 様
藤田 祥人 様
門間 正子 様

■小さなハートをつなぐ基金

下平 達也 様
榎本 徹 様

■セカンドオピニオンへのご寄附

上仮屋 ちづ子 様
他匿名3名

ご寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器病を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行っております。

今後もこのような活動を継続させていただけますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げております。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税（個人）、法人税（法人）の控除が受けられます。

また、税額控除に係る証明を取得しておりますので、個人の方からのご寄附につきましては所得控除と税額控除のいずれか一方を選択いただくことができます。

■三井住友銀行　丸ノ内支店
普通　0801474
■三菱東京UFJ 銀行　丸の内支店
普通　4025878
■ゆうちょ銀行
一般振替口座　00140-3-173597
（ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキュウ）店
当座　0173597）
口座名：公益財団法人 日本心臓財団
ザイ）ニホンシンゾウザイダン